

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 株式会社 アドバンテッジリスクマネジメント  
 コード番号 8769 URL <http://www.armg.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 大

(氏名) 鳥越慎二  
 (氏名) 筒井 努

TEL 03-5794-3800

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	610	△7.8	20	—	13	—	2	—
21年3月期第1四半期	662	—	△39	—	△46	—	△45	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	14.23	13.51
21年3月期第1四半期	△283.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	2,766	952	34.4	5,914.36
21年3月期	3,186	948	29.8	5,888.99

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 952百万円 21年3月期 948百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	1,300	△7.7	20	△68.3	10	△81.2	△5	—	△31.05
連結累計期間	2,800	△0.8	200	3.8	180	3.5	80	△33.5	496.72

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	161,072株	21年3月期	161,072株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	16株	21年3月期	16株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	161,056株	21年3月期第1四半期	158,672株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものです。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想値と異なる結果となる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機による景気悪化が根強く、企業収益や雇用環境が悪化し、個人消費が低迷するなど、景気の先行きは依然として厳しい状況で推移しております。

このような経済状況において、「人が安心して働ける環境を創る」という経営理念に基づき、保険会社とのプロジェクトによる団体長期障害所得補償保険（以下GLTDという）の販売や、精神的な疾患が原因で働けなくなるリスクの軽減と社員の生産性の向上を目的としたメンタルヘルスケアの各種サービスの販売・新サービスの開発等に積極的に取り組みましたが、当社の提供している企業向けの福利厚生関連の各種サービスに対する企業の需要は厳しい状況で推移しております。このような厳しい状況に対応して、効率的な事業運営を行うことによりコスト削減を進めてまいりました。また、前第1四半期連結累計期間において発生していたオフィスの移転に伴う一時的な費用は、当第1四半期連結累計期間においては、発生しておりません。

その結果、売上高610百万円（前年同期比7.8%減）、営業利益は20百万円（前年同期は、営業損失39百万円）、経常利益は13百万円（前年同期は、経常損失46百万円）、四半期純利益は2百万円（前年同期は、四半期純損失45百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

#### （就業障害者支援事業）

GLTDの新規顧客に対する販売については、引き続き保険会社とのプロジェクトを中心に、新規顧客の開拓を進めてまいりました。また、GLTDの既存顧客に関しましては、加入者数増加施策の提案やグループ企業への拡大、顧客のニーズに沿ったプラン変更を提案するなど、積極的な営業活動を実施いたしました。これらの活動により、GLTDの加入者数は平成21年6月末現在で、約31万3千人となり、順調に推移しております。しかしながら、保険事務アウトソースにつきましては、保険会社の業務の内製化により、一部の契約が解除されております。

この結果、就業障害者支援事業の売上高は216百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は27百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

#### （メンタルヘルスケア事業）

当事業においては、昨年に引き続き各種パートナーとの連携等を通じて、ココロの健康診断eMeに基づく早期発見と早期対応を特徴としたアドバンテッジEAP、従業員の悩みに対応し組織の生産性を上げるフォーサイトEAP、メンタルタフネスを強化するMTOP、早期離職を予防するHIL等、様々なニーズに対応できる商品・サービスを提供してまいりました。また、精神疾患のリスクを測定し、早期対応を可能にするSMARTの発売を開始するなど、提供するサービスの向上に努めております。これらの活動により、メンタルヘルスケアの各種サービスの利用者数は平成21年6月末現在で、約62万1千人となっておりますが、昨今の急激な経済環境の悪化に伴う企業の一時的なコスト抑制により、研修等の短期的に発生する収益については、減少しております。

この結果、メンタルヘルスケア事業の売上高は245百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は31百万円（前年同期比13.5%増）となりました。

#### （パーソナルリスク事業）

当事業においては、主に個人を対象とした保険を販売しておりますが、引き続きオペレーション業務の効率化やサービスの見直し等、より一層収益性が向上するために各種の施策を実施しております。また、平成20年9月にファイナンシャルプランニングに関するサービス提供を行うFPネットワークの事業譲渡を実施しているため、当第1四半期連結累計期間には当該事業にかかわる売上高は含まれておりません。

この結果、パーソナルリスク事業の売上高は126百万円（前年同期比16.1%減）、営業利益は99百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

#### （ビジネスリスク事業）

当事業においては、主に法人を対象とした保険を販売しておりますが、引き続き新規及び既存顧客へ各種の保険商品の提案活動や保険料削減提案等を実施することにより、新規契約の獲得及び既存契約の維持に努めました。しかしながら、経済環境の悪化に伴い、企業の保険契約の更改に対する判断や、保険会社の保険の引受姿勢に変化が現れるなど、厳しい状況が続いております。

この結果、ビジネスリスク事業の売上高は22百万円（前年同期比37.2%減）、営業損失は14百万円（前年同期比47.4%減）となりました。















